



桜台四・五・六丁目地区防災マップ(地震編)

令和5年3月発行

■火災が起きたら初期消火

消火器の場所を確認



自宅近くの消火器の場所を、3カ所以上、確認しておきましょう。

■負傷者を見つけたら救出・救護

AEDの場所を確認



心臓に電気ショックを与え、正常な心拍機能を回復させます。

■声を掛け合って避難

自宅が危険なら避難拠点へ



区内で震度5弱以上の地震を観測した際に開設します。

避難ルートの危ない場所をチェック



落下しそうなものが多い道やブロック塀がある道に注意しましょう。

■災害時安否確認ボード (地域の方々の救援・救助のために)

震度5弱以上の地震が起きたとき

- ①家族が無事で助けを必要としないときは、安否確認ボードを玄関外に3日間以上掲示してください
- ②隣近所で、安否確認ボードが出ていないお宅があれば、優先して声掛けをしてください



※安否確認ボードは、冊子「防災の手引き」に入っています。ご自宅にない場合は、練馬区のホームページから印刷しましょう。

■緊急車両の通行

道路幅員が狭く、消防車など緊急車両の通行が困難となるところもあると考えられます。

■火災延焼

火災発生時に初期消火が遅れると、周囲の建物に燃え広がることも考えられます。

《地域の皆さんからの声》

- ・地震時と水害時の避難先が異なることに注意する (地震時は開進第二小学校へ避難)
- ・各家庭で備蓄する、避難するルート・場所を考えておくなど、日頃から自助を意識する
- ・災害時には、地域の全員で協力して要配慮者を助けるなど、互助活動を意識する
- ・原則、可能な限り広い道を通って徒歩で避難する

凡例

各種施設、資源等

- 交番
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局
- オープンスペース、広い駐車場等 (落下物のおそれの少ない場所)

もしものときの避難する場所等

○必ず確認してほしい場所

避難拠点

○家族等との待ち合わせ場所

ここに集まる

避難拠点入口

公園・児童遊園 緑地等

災害時医療機関等 (主な診療科を記載)

災害時に役立つ情報、資源

○必ず確認してほしい場所

消火器

AED (事前に使える時間帯を確認しておきましょう)

防災会防災資器材格納庫

消防分団格納庫

ミニ防災戸 (生活用水)

防災井戸

地下貯水槽 (5 t)

消火用貯水槽 (40 t 以上)

消火栓

スタンドパイプ

防災無線 (放送塔)

防災会防災資器材格納庫には、救出救護や初期消火のための資器材が入っています。防災会防災資器材格納庫の鍵は、防災会長または各部長 (桜台自治会) が保管しています。

- (例) 担架・レスキューカー } 救出・救護
- パール・ハンマー
- 軽可搬ポンプ
- スタンドパイプ } 初期消火

貯水槽や消火栓は、初期消火を行う際の水源になります。



※本マップは、ワークショップ参加者の意見を基に作成しています。この他にもお付きの情報を書き込んでみてください。

発行：練馬区危機管理室 区民防災課

電話/FAX: 03-5984-2601 / 03-3993-1194

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 4 J H s 128

HP: 右のQRコードからアクセスできます



①情報収集



最新の気象情報を区のホームページやねりま情報メールで確認しましょう。
(上記のQRコードから確認できます)

②避難の判断と準備



浸水に備え、土のう・水のう・止水板の準備や、強風に備え、雨戸・シャッターを閉めるなどの対策をしましょう。

③近隣への避難の呼びかけ



避難の呼びかけやお年寄りの避難支援など、近所の皆さんで助け合いをしましょう。

④早めの避難



自身と家族の身の安全を十分に確保しながら、貴重品や食料、毛布等を持参し、家の周りが浸水する前に早めに避難しましょう。

■防災無線自動音声応答サービス

防災無線から放送された内容を、電話で確認することができる「防災無線自動音声応答サービス」を行っています。24時間以内の放送内容が確認できます。
電話：0120-707-111(通話無料)
※また、防災無線の放送内容を文字化して、「ねりま情報メール」で自動配信するとともに、区のホームページでも確認できます。

■石神井川沿いの地域

- 石神井川は、短時間の豪雨で急に水位が上がり、氾濫することがあります。
- 川の氾濫より前に、降った雨が排水しきれずに冠水することもあります。

■土砂災害警戒区域

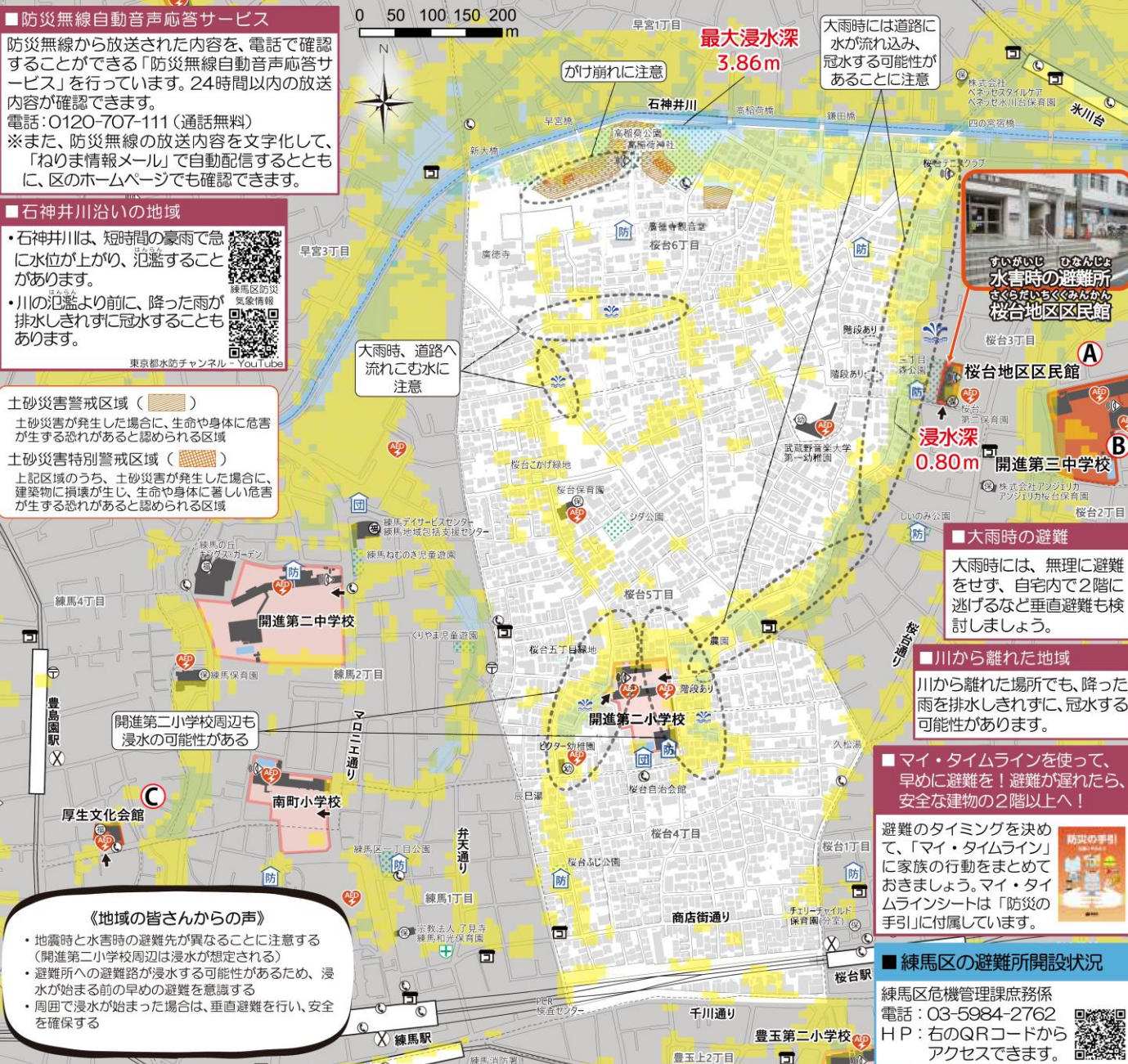
- 土砂災害が発生した場合に、生命や身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域
- 土砂災害特別警戒区域(上記区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、生命や身体に著しい危害が生ずる恐れがあると認められる区域)

■開進第二小学校周辺も浸水の可能性がある

開進第二小学校周辺は、大雨時の浸水リスクが高いため、避難時には浸水リスクを考慮し、安全な建物へ避難してください。

《地域の皆さんからの声》

- 地震時と水害時の避難先が異なることに注意する(開進第二小学校周辺は浸水が想定される)
- 避難所への避難路が浸水する可能性があるため、浸水が始まる前の早めの避難を意識する
- 周囲で浸水が始まった場合は、垂直避難を行い、安全を確保する



■大雨時の避難

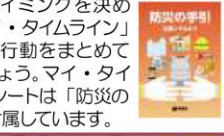
大雨時には、無理に避難をせず、自宅内で2階に逃げるなど垂直避難も検討しましょう。

■川から離れた地域

川から離れた場所でも、降った雨を排水しきれずに、冠水する可能性があります。

■マイ・タイムラインを使って、早めに避難を！

避難のタイミングを決めて、「マイ・タイムライン」に家族の行動をまとめておきましょう。マイ・タイムラインシートは「防災の手引」に付属しています。



■練馬区の避難所開設状況

練馬区危機管理課庶務係
電話：03-5984-2762
HP: 右のQRコードからアクセスできます。

凡例

- 避難所**
※雨状況や地域の危険性に応じて、A(桜台地区区民館)・B(開進第三中学校)・C(厚生文化会館)の順に避難所を開設します。避難の際は、必ず避難所の開設状況をホームページ等でご確認ください。
- 避難所(危険がさらに高まった場合)**
※河川の氾濫・浸水深の危険性がさらに高まった場合は、区立中学校を避難所として開設することがあります。
- 避難所入口**
- 災害時に役立つ資源**
防災会防災資器材格納庫
消防分団格納庫
AED(事前に使える時間帯を確認しておきましょう)
- 準備・避難時に必要な情報**
防災無線(放送塔)
水がたまりやすい箇所

各種施設、資源等

- 交番
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 郵便局
- 公園・児童遊園
- 緑地等

浸水深の目安

